全国から同志が集結
―秋田県で全国大会に参加―

2月17日・18日、第42回全国大会「美の国あきた大会」が開催され、今年度の卒業生含め22名で参加しました。

大交流会で秋田の地の食材を楽しみつつ、熱気ある会場で他単会との交流を深め、翌朝は厳かな空気の中で記念式典のセレモニーが執り行われました。祈念講演では「真に価値あるものとは～足元の宝を育み誇りを持って地域で生きる～」をテーマにパネルディスカッションを聞き、次に記念事業である卒業式が行われました。全国のYEG卒業生が一堂に会し、令和4年度日本YEG会長西村昭宏氏による送辞、卒業生代表として令和2年度日本YEG会長米良充朝氏による答辞があり、熱い言葉が胸に響き、卒業生の皆様と共に、全国大会に参加でき、忘れられない思い出となりました。

卒業生含め22名で秋田の地へ！

夜も熱く語り合いました

（渉外広報委員会　井本光昭）

市長を交えて地域活性化座談会
―2月例会を開催―

2月24日、2月例会として「地域活性化座談会」共に描こうこのまちの未来と題し、各種実証実験の報告とパネルディスカッションの2部制で、地域活性化委員会が担当委員会として開催しました。

第1部は、加古川市が実証実験をしている「官民連携の加古川駅周辺の賑わいづくり」の一環として行った地域活性化フェスティバルの報告を地域活性化委員会や、兵庫大学ビジネス学科の学生にして頂きました。また、加古川以外の駅前実証実験の報告を加古川市政策企画課の担当者からして頂き、加古川東高校の報告を代理としてNEC様からして頂きました。各報告者が当事者意識をもって資料をまとめていただいたことで、参加者全員で事業内容を振り返り、さらに報告者が検証した今後の課題をメンバーに共有できました。

第2部ではパネリストとして、岡田康裕市長、松本茂樹兵庫大学現代ビジネス学部長、小川佳宏県民局長をお迎えし、加古川YEG岡本良太郎会長を加えたメンバーで、地域活性化座談会を開催しました。パネリストの方々には業務多忙中、事前打ち合わせを行って頂きありがとうございました。地域活性化座談会では、まちづくりに関連する様々な分野で、長として現場で実践されている方の様々なお話を聞けました。加古川を良くしていくのは、自分たちの住んでいる「まち」あるいは自分の生活をより良くしようという思いが原点だと話があり、その思いを地域の中でどう活かしていくか、加古川YEG活動で、あるいは自分の社業でまちづくりに貢献すると言う気持ちをさらに高めるいい機会になりました。

2月例会は様々な方々にご協力を頂き実施した実証実験の結果を産官学で検証することで今後、加古川YEGとして加古川が活性化するためにどのようなことができるのか、次年度以降に引き継ぎ、継続的にこのまちのために対話の機会を創出していくことが必要であると感じました。

パネリストの方々

当日、ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

（地域活性化委員長　中川　誠貴）